



取扱説明書 フラッシュ付コールスピーカー

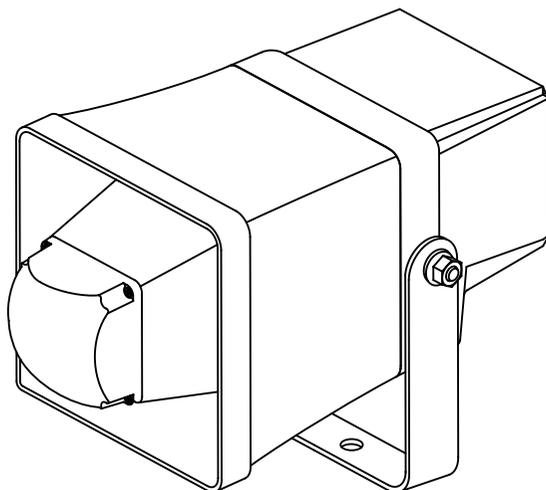
FH-692

このたびはノボル「FH-692」をお買上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、必ず保管してください。（保証書付）

裏面の「安全上のご注意」をお読みになってから本文をお読みください。

■特長

- 本機は、外線着信や内線着信を音と光により知らせるためのコールスピーカーです。
- 本機は、屋内、屋外で利用できます。（雨の直接かからない軒下程度の屋外に限ります。）
- 本機は、アンプとスピーカーが一体となっていますので、入力線を接続するだけで使用できます。
- 入力線に平行線（電話線）が使えますので工事が簡単です。
- 本機は、電話機のスピーカー端子に接続して着信音や、スピーカー通話の拡声に使用できます。（この場合、2～3台並列に接続して使用できます。また、フラッシュも点滅します。）
- 本機は、電話機主装置のページングユニットの出力端子に接続して受話器から拡声放送ができます。（この場合、フラッシュも点滅します。）



●目次	
安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
接続方法	5
使用方法	6
故障かな？	6
仕様	7
外觀図	7
保証書	8

■安全上のご注意

この安全上のご注意及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>		<p>この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。</p>
 注意	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>		<p>この記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p>
			<p>この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。</p>

 警告	
<ul style="list-style-type: none"> ●表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●傷害防止のため、この機器は、取付工事に関する説明に従って、取付面にしっかりと取り付けてください。 	 警告
<ul style="list-style-type: none"> ●風呂場などの水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 	 水場禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器のカバーは、絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 	 分解禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。 	 禁止



警告

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを抜け

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆いますと、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがありますのでやめてください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



禁止

- この機器の上に花瓶、コップ、化粧品等、薬品や水の入った容器や、小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



注意

- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となります。
- スピーカーを耳に近づけないでください。聴力障害などの原因となることがあります。



注意

- 窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場合など異常に温度が高くなる場所に取り付けしないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



禁止

- 湿気やほこりの多い場所に取り付けしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に取り付けしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



注 意

- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に取り付けしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁 止

- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



禁 止

- フラッシュランプの点滅中は、近距離で機器を直視しないでください。目を傷める原因となることがあります。



禁 止

- お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜け

- 年に一度ぐらいは、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。



注 意

- 長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜け

- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜け

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



禁 止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

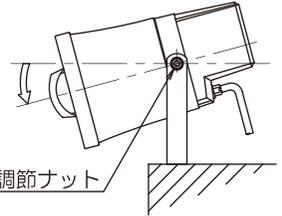
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁 止

■使用上のご注意

- 取付金具をボルトなどで確実に固定しホーンの角度調節により、配線、接続部などに無理な力がかからないようにしてください。
- 角度調節は角度調節ナットを緩めて行き、調節後はしっかりと締め付けてください。
- ホーン開口部は必ず水平方向より下に向けて取り付けてください。
- 音量調節孔のキャップは必ず取り付けてください。
- 長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 受話器の送話口の近くにスピーカーがあると、ハウリング（スピーカーからキーンという音が出る）を起こす事があります。この時はスピーカーの向きを変えるか、音量を下げてハウリングしないようにしてください。
- 着信音のほか、音声による呼出し等に対してもフラッシュが点滅しますので機器の近くでランプ部を見ないようにしてください。（点滅は故障ではありません。）



■接続方法

● ページングユニットに接続する場合

- 本機の入力線と電話機主装置のページングユニットの出力端子を接続してください。（図1参照）

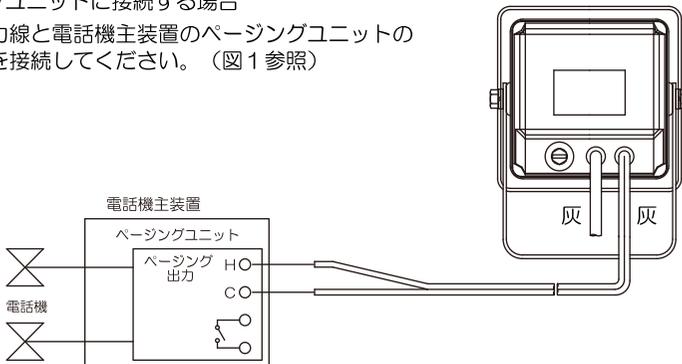


図1

● 電話機のスピーカー端子から入力を取る場合

- 本機の入力線と電話機のスピーカー端子を接続してください。（図2参照）

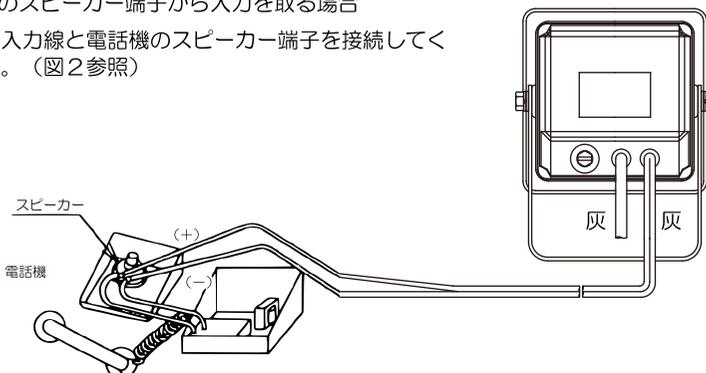
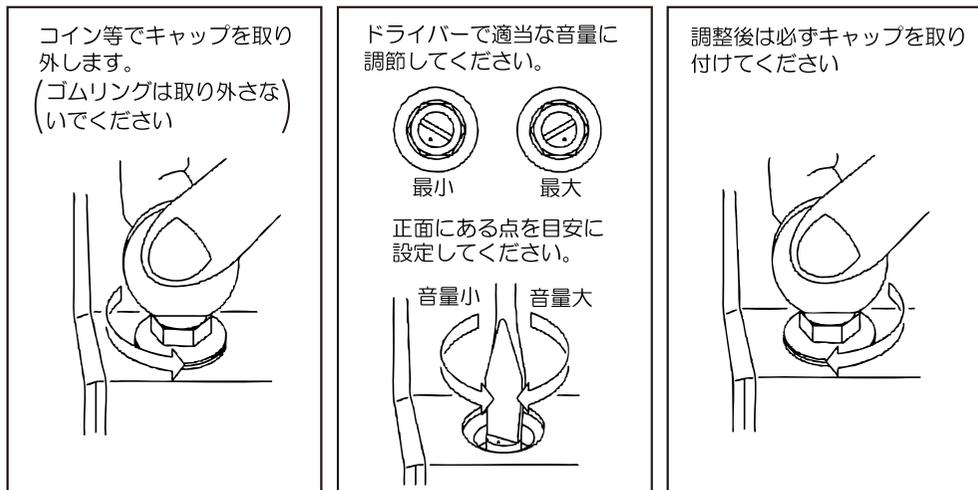


図2

■使用方法

- ①すべての接続が正しいかどうかを確認してください。
- ②電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ③音量調節については下記を参照し適当な音量に調節してください。

音量調節



■故障かな？

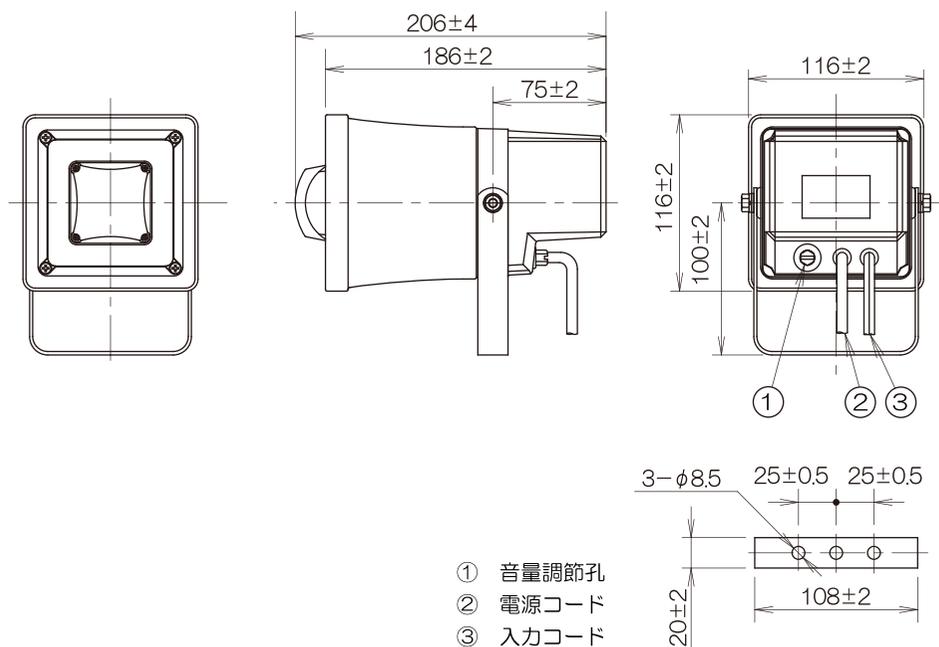
機器の調子がおかしい時、案外簡単なことが原因になっていることが多いものです。修理を依頼される前にもう一度確認してみましょう。

症 状	点 検 項 目	処 置
音が出ない、 または音が 途切れる。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグを差してください。
	ボリュームが最小になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	接続が外れていませんか。	正しく接続してください。
	接続がショートしていませんか。	正しく接続してください。
フラッシュが 点滅しない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグを差してください。
	接続が外れていませんか。	正しく接続してください。
	接続がショートしていませんか。	正しく接続してください。
雑音が出る。	本体や信号線の近くに強いノイズを出すような器具又は電線がありませんか。	遠ざけてください。

■仕 様

電 源 電 圧	AC100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	6W
定 格 出 力	2W
入 力 回 路	-22dBV 600Ω (平衡型)
閃 光 周 期	0.6秒
綜 合 出 力 音 圧 レ ベ ル	105dB (定格出力1mにおいて)
綜 合 周 波 数 特 性	500Hz～7kHz (出力音圧レベルより-20dB以内)
口 径	116mm×116mm
材 質 、 色 調	ホーン部 ABS樹脂 2.5Y8/3 近似色 クリーム ホーン後部 ABS樹脂 5YR2/1.5 近似色 ダークブラウン 取付金具 鋼板 5YR2/1.5 近似色 ダークブラウン
使 用 温 度 範 囲	-10℃～+50℃
質 量	約1.5kg (取付金具含む)
コ ー ド 仕 様	電源コード VCTFK 0.75mm ² ×2 約1.9m 入力コード VFF 0.5mm ² ×2 約1.9m

■外観図



保証書 持込み

型名	FH-692 ★製造番号		この保証書は無償修理規定により無償修理を行なうことを約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。修理品の送料はご使用者においてご負担ください。	
保証期間	お買い上げから一年間 但し、消耗品を除く（詳しくは下記に記載）			
お買い上げ日	★ 年 月 日			
★お客様欄	住所	〒 — TEL () —	★販売店	住所・店名・電話番号
お名前	様			

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。製造番号については本体に貼付している規格銘板近くに貼付しています。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

＜無償修理規定＞

1. 取扱説明書、本体注意銘板などに従った、正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合、商品と本書をお買い上げの販売店にご持参、ご提示の上、修理をご依頼ください。無償にて修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
 - (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
 - (2) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障および損傷。
 - (4) 常識的に正常な動作であるにもかかわらず、修理または、部品交換等の要求をされる場合。
 - (5) 本製品に接続された当社指定以外の機器故障に起因する故障。
 - (6) お客様のご都合による、出張修理を行なった場合の出張費用。
 - (7) 保証書のご提示が無い場合。
 - (8) 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合。
3. この保証書は日本国内においてのみ、有効です。This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

- * 本製品の故障に起因する付随的損害についての保証はお受けできません。
- * この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合、お買い上げの販売店または下記のお客様相談室までお問い合わせください。

株式会社ノボル電機

商品や技術など、お問い合わせにお応えします

お客様相談室

フリーダイヤル（無料電話） 0120-014-602
 フリーダイヤルに接続できない場合は 072-852-7503（通話料がかかります）
 受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00（土・日・祝日、および弊社休日を除く）